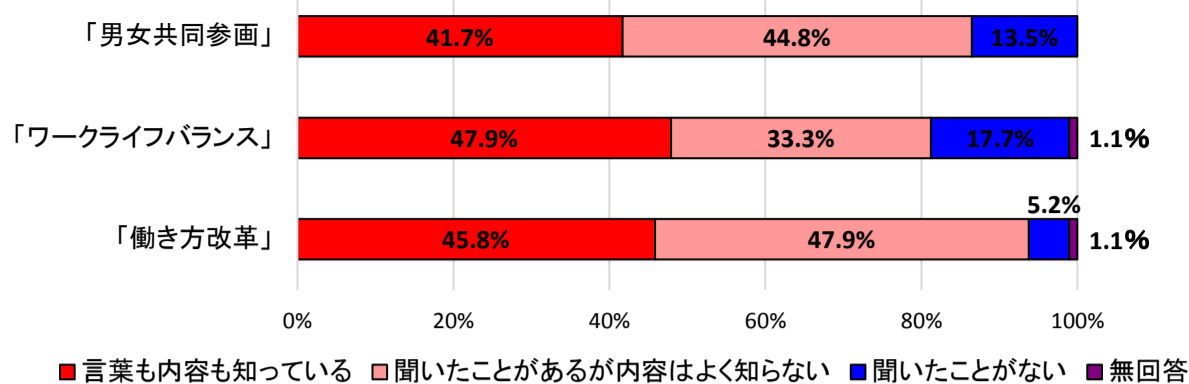


<2019年度 医と社会Ⅲ学生キャリア講習会 講義前後アンケート結果>

【次の言葉を知っていますか？(講義前)】

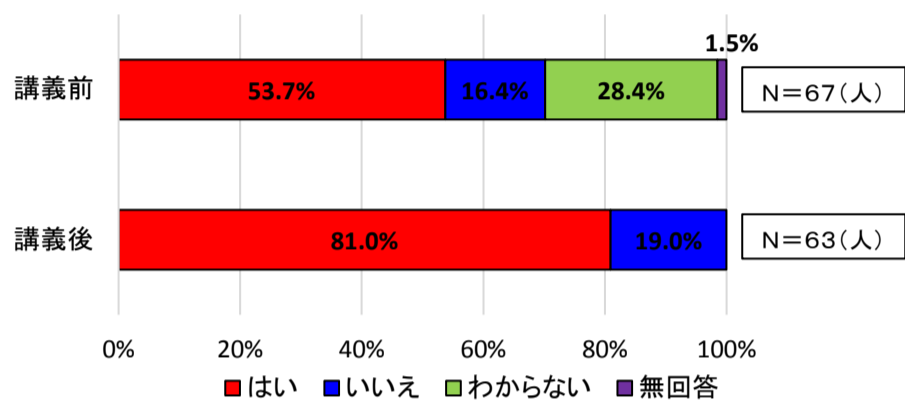
N=96 (人)



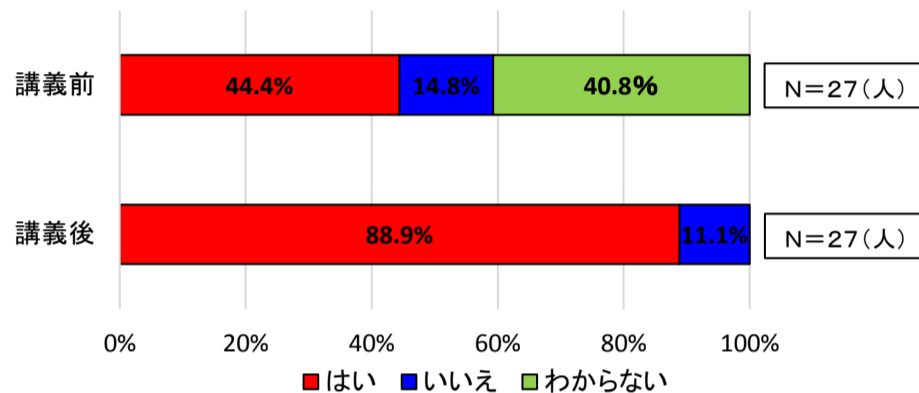
●2019年度の受講予定者121名のうち、男子学生は86名、女子学生は35名(女子学生率28.9%)でした。「ワークライフバランス」の言葉も内容も知っている割合は過去最高の47.9%で、「働き方改革」についても45.8%であり、最近の国の方針に基づく報道の影響が大きいと思われます。言葉の定着は、実現への第一歩かもしれません。

●現時点での将来の不安については、講義の前後で、不安がある割合が減り(59.4→38.5%)、不安がない割合が増える(26%→49.5%)結果は、これまでの講義と同様でした。講義後に、講義前と比べて不安が減った・無くなったと答えた割合は41.8%でした。将来に対する不安の内容(複数選択)としては、一番多かったのが「診療科の選択」(17.3%)でした。次に「勤務地」(16%)、「専門領域」と「結婚・出産」(15.4%)と続きました。

【自分も育休を取ってみたいですか？(男子のみ)】



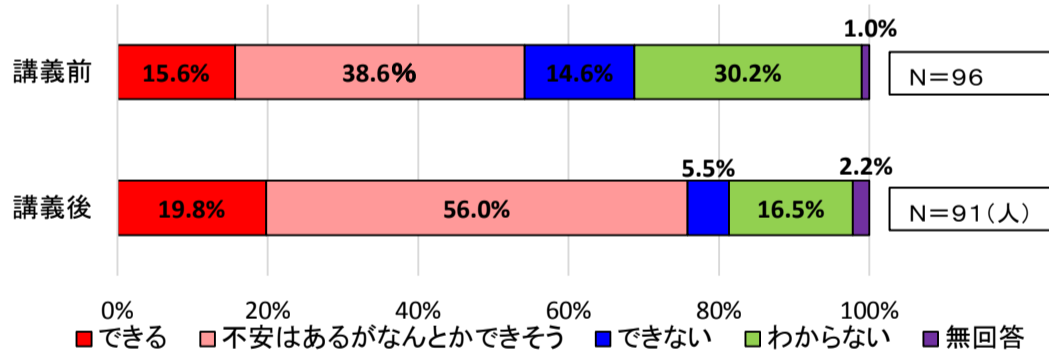
【パートナーに育休を取ってもらいたいですか？(女子のみ)】



●「産休」「育休」の言葉は90%以上の認知度があり、男性も育休を取れることを知っている割合は94.8%と過去最高でした。また、講義前の「自分も育休を取ってみたい」男子学生の割合53.7%も過去最高の結果でした。若い男性の意識改革は進んでいます。

●将来の進路を決定するときに重視するもの(3つまで選択)のランキングでは、1位は講義前後ともに「仕事の内容」、次に講義前は「収入」「やりがい」と続き、講義後は「やりがい」「収入」となりました。

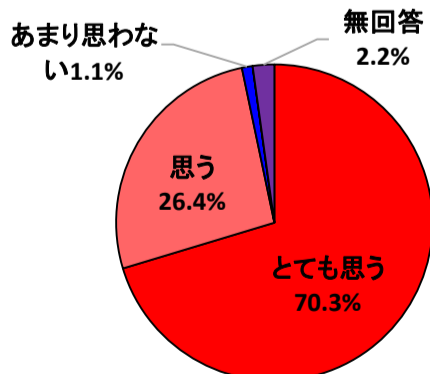
【医師や研究者になって結婚・子育てするようになった場合、仕事と生活を両立できると感じますか？】



●生活と仕事の両立については、講義前→後で「できる」15.6%→19.8%へ、「なんとかできそう」38.6%→56%へと増加して、講義後の両立への自信は75%以上でした。「できない」「わからない」の割合はいずれも講義後に減少し、また、今回の講義が将来役に立ちそうだと答えた学生は91.2%となり、講義の意義があったと感じました。

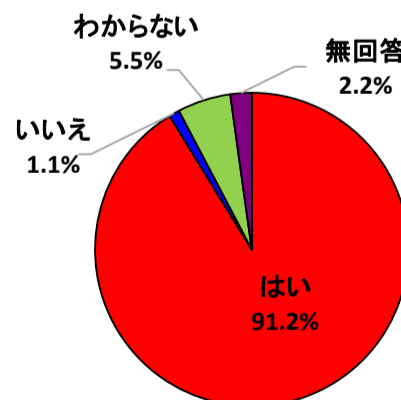
【ワークライフバランスの考え方は重要だと思いますか？(講義後)】

N=96(人)



【今日の講義は将来役に立ちそうですか？(講義後)】

N=91(人)



●学生からは以下のような感想がありました。
 ・多様な働き方、特に女性医師の話が、自分と違った視点を持っていて参考になった。(男性)
 ・これからどのようにして自分のキャリアについて考えていけばよいか分かりました。(女性)
 ・医学の授業では考えることのない内容だったので、すごく身になりました。(男性)
 ・様々な制度や、雇う側としても様々な工夫があると知ることができた。しかし、先生方のスケジュールを見て、やはり両立は大変忙しいのだと思いました。(女性)
 ・グループワークでより自分たちの考えを共有し将来につなげられると思う。先生方のアドバイスも適確でわかりやすかった。(男性)
 ・これまでは早く結婚して出産したいと考えていたが、今日を通してキャリアアップを前向きに挑戦したいと思うようになった。(女性)